

<第 1 回 研修会に参加しての感想>

- ・本の持ち方、ページのめくり方、発声、疑問に思っていたこと、勉強になった。15
早速実践したい。3
 - ・具体的な技巧が聞けて良かった。
 - ・縦書き、横書きでめくる方向が違うことに納得、目からうろこ、今後気を付けてみたい。6
 - ・アイスブレイキングの大切さ再認識。
 - ・読み始める前の「導入」についても考えたい。
 - ・読み聞かせの基本に立ち返って、持ち方、見せ方、姿勢など自分を見直す良い機会になった、再確認できた。
- 7
- ・基本的なお話が多かったが、当たり前だからこそとても勉強になった。
 - ・自分の姿勢も意識したい。
 - ・子どもたちの**あこがれの的**であるよう、ルックスだけでなく、姿勢、発声、人前に立っているという意識を常に持って、子どもたちの前に立ちたい。
 - ・子どものための絵本選びも工夫したい。
 - ・先生の持ってこられた本、参考になった、楽しく基本を学べた。
 - ・グループ内の人たちの持ってきていた本、参考になった、もっと知りたかった。
 - ・いろいろな方の読み方を聞くことができ、新しい発見があり勉強になった。2
 - ・普段出会うことのない他の学校の人と一緒にワークをして刺激になった、感想が聞け、勉強になった、リフレッシュできた、知り合いになれてよかった。5
 - ・仕事場のコミュニケーションにも役立ちそう。
 - ・班に分かれての作業や読み聞かせなどいろいろ盛りだくさんでよかった。2
 - ・作者の意図から離れないように展開していく、感情過多にならないように、子どもの感性を先取りしない、ということを改めて聞けて良かった。
 - ・声色を使い分けて読むことを得意としていたので、そうしない方が良かったの？と落ち込んでいる。
我が子に読む場合、公の場とで使い分ける必要があるのかなと感じた。
 - ・大阪弁の絵本、大阪弁のイントネーションとあまりにかけ離れていると、それが気になって集中できない。
 - ・「言われて輝く言葉」、みんなに言いたいし、私も言ってもらいたい。
 - ・「言われてみるとすごくうれしい気持ちになった。相手に言って、喜びを共有したい。
 - ・みんな、自分を認めてほしいと思っているんだなと感じた。
 - ・「自由に旅ができる雰囲気を作る」という言葉が印象に残った。「いい読み聞かせは、読み手も子どもたちも輝く」このような読み聞かせができるよう精進したい。
 - ・読み聞かせを通じて子どもたちとふれあい、いつも元気をもらっているのも、もっともっと自分も勉強し、活動していきたい。
 - ・絵本の持つ力を知り、読むことに自信を持てるようになった。
 - ・読み聞かせは、子どものこれからの人生に深くかかわるんだなと改めて感じた。
 - ・子どもの気持ちに寄り添うことを大切にしようと思った。
 - ・子どもたちがドキドキする本、わくわくできるような読み方ができるよう頑張りたい。
 - ・自分も楽しみながら、読み聞かせを頑張って、子どもたちの笑顔に会いたい。2
- 子どもの絵本との大切な出会いの 1 冊が見つけれられるような会を開くことができたらいいな。
- ・子どもたちが輝く言葉をより意識して読むようにしたい。
 - ・絵本セラピーは癒すことではないのかなと・・・絵本セラピーとは何だったのか？
 - ・ワークショップを通じて癒された、心のセラピーをしていただいた。
 - ・もっとじっくり実際に読みあえたらよかった。

<今後の研修会への要望>

- ・絵本作家さん 5
- ・くすのきしげのりさん
- ・「かなしきデブ猫ちゃん」の早見さん、かのうかりんさん
- ・読み聞かせの活動をされている方
- ・紙芝居やわらべ歌、手遊びの講座 2
- ・絵本アプリをどう捉えるか、図書ボランティア全体で共通認識を持っていた方が良いのかなと思うので、

取り上げてほしい。

- ・絵本セラピーの研修
- ・ワークショップ形式の研修会 2
- ・グループなどで読み聞かせの実践をしたい、話し合えるようなことがしたい。
- ・絵本を皆さんがどのように実際読んでいるのか知りたい。
- ・読み聞かせから読書へのつなげ方。
- ・家読の取り組み方について
- ・多動性のある子どもに対しての読み聞かせ方。
- ・学校との連携の仕方。
- ・他校の方と交流
- ・すぐに取り入れることができるような会
- ・選書の仕方、年齢に応じた本
- ・上手な声の出し方
- ・発声練習など「声」についても知りたい。 3

<その他>

<まとめ>

- ・みなさんの「ありがとうございました」が聞けて良かったです。